

事業番号	- 2	事業名	環境技術実用化促進事業（バイオディーゼル燃料(BDF)実証実験事業）			
所管	環境	局	環境事業	部	資源循環推進	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルとしては、当初のコスト計算や堺市への還元、販売先の見通しが不明確で稚拙である。 ・BDFの利用先が市の収集車6台しかなく、事業として十分な検討がされず、開始されている。 ・この事業の優先順位は高いとはいえない。 ・事業実施による市への利益還元（メリット）が大きいとは考えにくい。 ・廃食用油のBDF化のコストを考え、事業を考えるべきである。 ・今後のBDF事業のあり方については、全市的に本格実施（ボランティアの協力が相当必要）か廃止かの二者択一しかない。一部地域で細々と事業を継続するのは一番良くない。 ・市としての事業は終了し、民間に任せるとよい。 ・この事業とは別に廃食用油の処理についてはその手法を考えるべきである。 						
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施（現行どおり）					0	0
市で実施（強化・拡充）					0	0
主な具体的強化策						
市で実施（要改善）					7	0
事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める				(1)	(0)
	市民との協働を推進する				(0)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する				(0)	(0)
	その他				(1)	(0)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す				(3)	(0)
	他の事業との統合・再編を検討する				(1)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）				(0)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(1)	(0)
その他					(1)	(0)
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年で終了後、必ず廃食用油を活用できるよう方針をたてた上で運用する。 					
実施主体の見直し					4	1
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる				(2)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(1)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(1)
事業は不要					6	4
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）				(0)	(2)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない				(1)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(1)	(1)
	サービス受給者の自助努力に任せべき（税金を投入する必要はない）				(0)	(0)
	効果がない（低い）				(4)	(0)
	その他				(0)	(1)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。